

現代俳句10人集 第10期……



祭當

石田邦子句集

いくたびも雛と共に転居せり

夕霞どこかで水の匂ひけり

昼過ぎの風強くなる花堤

高邁なことは思はず草むしる

敷石に夜雨の名残り秋さうび

息白く見馴れし山河ありにけり

煌々と職員室の二月かな

純白の一岳ありて芦の角

軒先に雀来てをり蜺汁

紫木蓮むかし住みたる家過よぎる

雨足の青き八十八夜かな

今年竹開け放ちたる神楽殿

しなやかに竹編まれゆく夏の土間

人去れば木霊あそぶ花菖蒲

走馬灯声なきものら来てあそぶ

お降りや肩なだらかに京の山

手鞠唄小江戸の町の七曲り

まんさくや比企丘陵の水明り

魯田をいくつも過ぎて近江かな

鳶ひとつ深空にありて湖の秋

ひらひらと旅芸人や秋の浜

雁渡る北前船の港寂び

猿沢の池の今昔鹿鳴けり

ふるさとの黒き柱や雪解風

雪しろの鉄橋わたり父の国

沈丁花病めば故郷の山河恋ふ

夕凧や魚臭の町に父思ふ

数へみる父の齡や白木槿

加賀の国より数へ日のかぶら鮎

声あげて海に入らむ雪解川

蛇穴を出て球音を聞きにけり

制服を試着してをり櫻草

鶏鳴の一戸を過ぎて木下闇

奥嶺より秋の来てゐる岩畳

雪だるま小さな燭をもらひけり

未來說く師の声清し花辛夷

若葉風馬上の少女振向かず

玉虫をくれし少年はるかなり

長髪の青春ありしクリスマス

流星を見む寝袋にくるまりて

寄り添うて鹿眠りしや星月夜

猫の恋未明の星をかがやかす

ものの芽や宇宙船より声とどく

子と仰ぐ大三角形盛夏なり

島の子の寢息安かれ星月夜

一冊の絵本を胸に冬銀河

祭笛夕星力増しにけり

短夜やわが歳時記のめくれぐせ

緑蔭や白馬の王子現はれず

萩の風母の泪をいま思ふ

正客に田の神在す秋祭

観音の肚に窓あり遠雪嶺



句集 シャガールの女

二〇〇一年八月二日

著者——辻 享子

発行人——山岡喜美子

発行所——ふらんす堂

〒182-0002 東京都調布市仙川町一―九―六一―一〇二

電話——〇三(三三三二六)九〇六一 FAX 〇三(三三三二六)六九一九

ホームページ <http://www.ifnet.or.jp/fragie> Email fragie@apple.ifnet.or.jp

振替——〇〇一七〇一―一八四一七三

装幀——君嶋真理子

印刷所——(株)トヨ―社

製本所——(有)並木製本

定価——本体二五〇〇円＋税

ISBN4-89402-418-7 C0092 ¥2500E

著者略歴

石田 邦子（いしだ・くにこ）
昭和 6 年 4 月 21 日 釧路市生まれ
昭和 50 年俳句を始める
平成 4 年「遠嶺」入会
平成 5 年「遠嶺」同人
平成 11 年「遠嶺」高嶺集同人
平成 13 年 5 月 俳人協会会員

句集
まつり
祭 笛 ぶえ
現代俳句 10 人集 第 IX 期 ⑩

平成十三年五月二十五日 発行

著 者 石田 邦子

発行人 小島 哲夫

発行所 北 溟 社

〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場

四一六一六四〇二

電話 〇三(五三八九)〇四三〇

振替 〇〇一四〇一三一七六八六〇二

印刷・製本 日本ハイコム株式会社

© 2001 Ishida Kuniko Printed in Japan
ISBN 4-89448-180-4

落丁・乱丁はお取り替えいたします。
定価は函に表示してあります。